熊谷市の「市街地における自転車走行環境整備の取り組みについて」

事例紹介

熊谷市　都市整備部　都市計画課

目次

Ⅰ　取組み経緯と位置づけ
Ⅱ　平成20年度熊谷市道路空間検討会の概要
Ⅲ　平成21年度の取組み
Ⅳ　社会実験の実施
Ⅴ　エコまちづくり熊谷

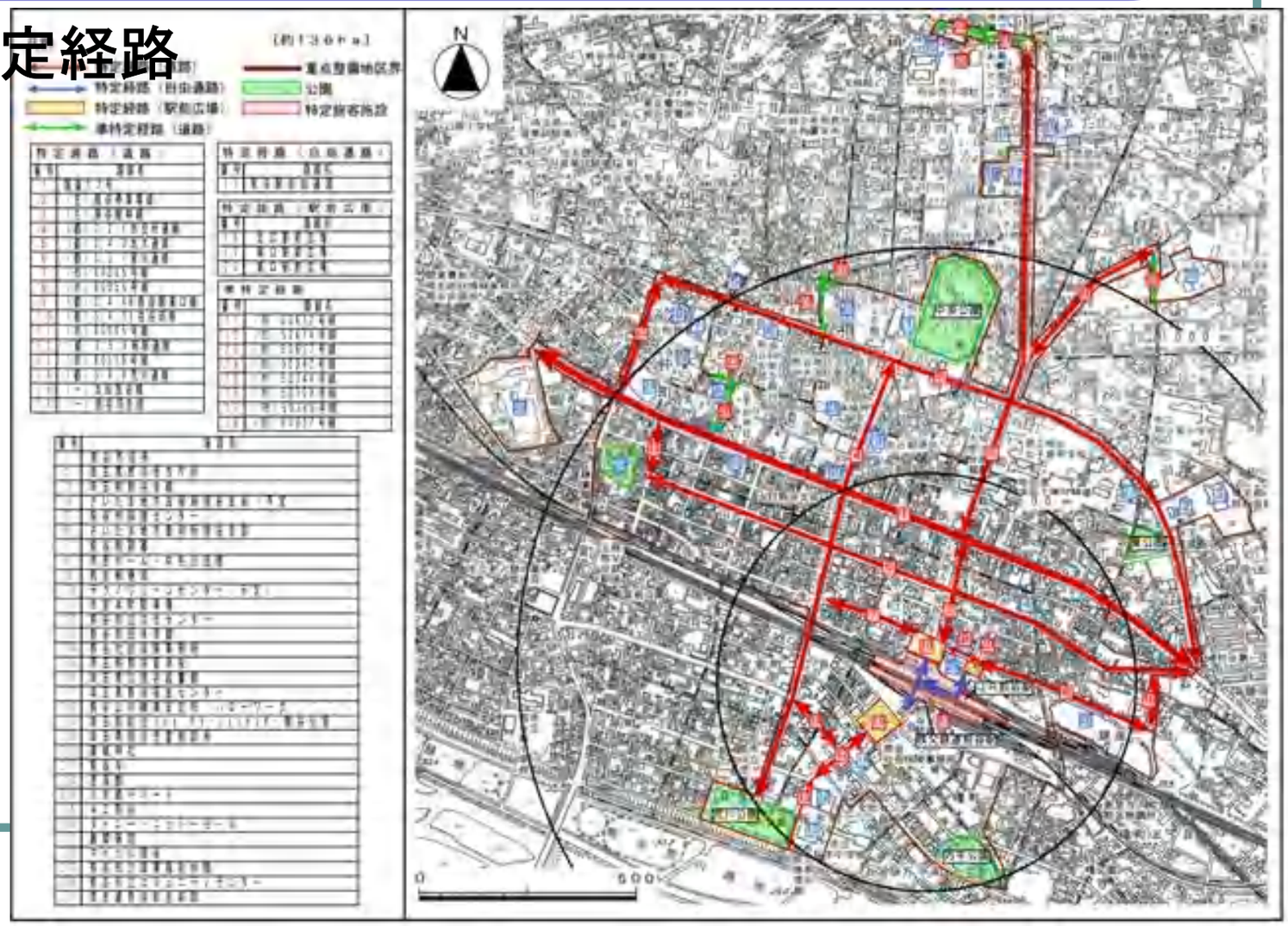
Ⅰ　取組み経緯と位置付け

取り組み経緯

- 平成12年11月　「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（交通バリアフリー法）施行
- 平成14年　3月　熊谷市交通バリアフリー基本構想の策定
  中期計画：平成16年度（埼玉国体）
  長期計画：平成22年度
- 平成19年　7月　自転車走行環境の整備について（国土交通省・警察庁）
- 平成19年11月　「あなたと考える安全な自転車環境」フォーラム
  埼玉県道路交通環境安全推進連絡会議主催
  （パネラー 熊谷市長）
- 平成20年　1月　自転車通行環境整備モデル地区の指定
- 平成20年　4月　「川と川　環境共生都市　熊谷」総合振興計画
- 平成20年10月　熊谷市道路空間検討会の設立
- 平成21年　7月　熊谷市都市環境改善基本計画策定委員会の設立
- 平成21年　7月　熊谷市道路空間整備推進委員会の設立
- 平成21年10月　熊谷市中心市街地自転車道等社会実験の実施

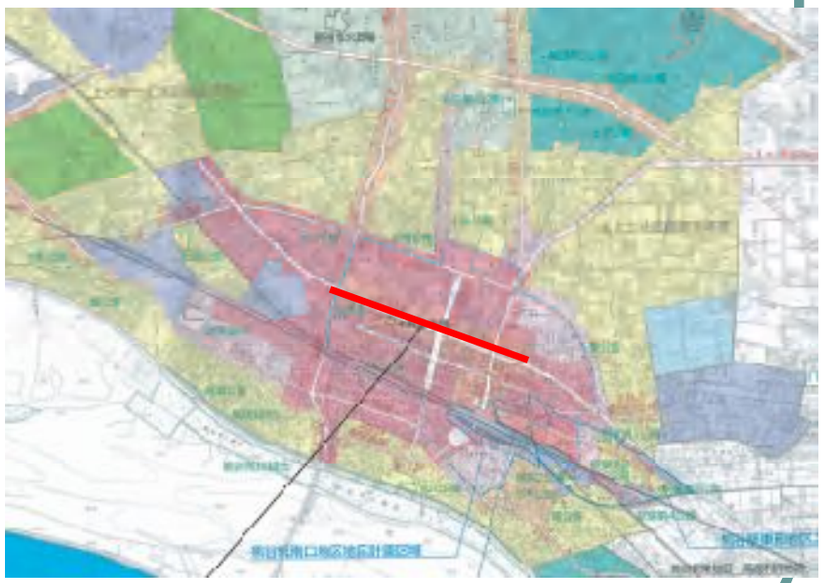
熊谷市交通バリアフリー基本構想

- 特定経路



道路特定事業の内容（国道17号）

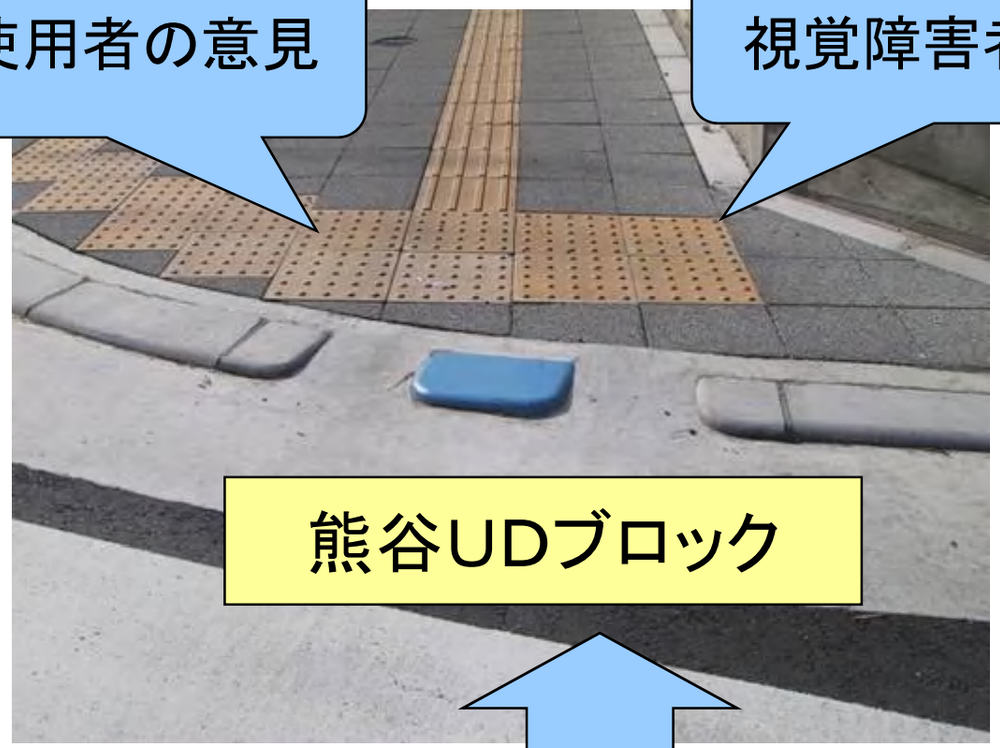
- 歩道の段差解消
- 案内標識の整備
- 歩行者と自転車の分離の検討
- 横断歩道橋の改修の検討
- 低床バスに配慮した停留所整備の推進



熊谷UDブロック

車いす使用者の意見

視覚障害者の意見



熊谷UDブロック

障害者と行政の協働作業で社会実験

自転車通行環境整備モデル地区

自転車通行環境整備の取り組みについて

自転車通行環境整備のモデル地区（3箇所）の取り組みについてお知らせします。

記者発表資料

国土交通省と警察庁が合同で募集する、今後の自転車通行環境整備の模範となるモデル地区に埼玉県内で3箇所が指定されました。

今後、さいたま地区（さいたま市岩槻区）、熊谷地区（熊谷市）、三郷地区（三郷市）の3地区においては、積極的な自転車通行環境の整備を実施します。　（別添、地区概要参照）

県内における自転車をとりまく環境

- ○平成19年中の自転車乗用中の交通事故死者は45人で、全交通事故死者に占める構成率は19.7%である。
- ○自転車乗用中の交通事故死者は2年連続全国ワースト1位であったが、平成19年は前年と比較して19人減少し、全国ワースト5位。
- ○自転車乗用中の交通事故死者のうち7割近くが高齢者である。
- ○自転車が関係する人身事故件数は減少傾向にあるが、平成19年中の自転車と歩行者の関係する人身事故は増加した。
- ○自転車防止事故の一環として、自転車利用の交通違反者に対し、自転車警告カード（レッドカード）を活用した指導警告をするとともに、悪質違反者については検挙活動を強化し、交通安全意識の高揚を図っている。
- ○自転車保有台数も約550万台と東京都、大阪府に次いで全国3位。

熊谷地区における整備概要

●実施主体：埼玉県警察、国土交通省大宮国道事務所、埼玉県、熊谷市

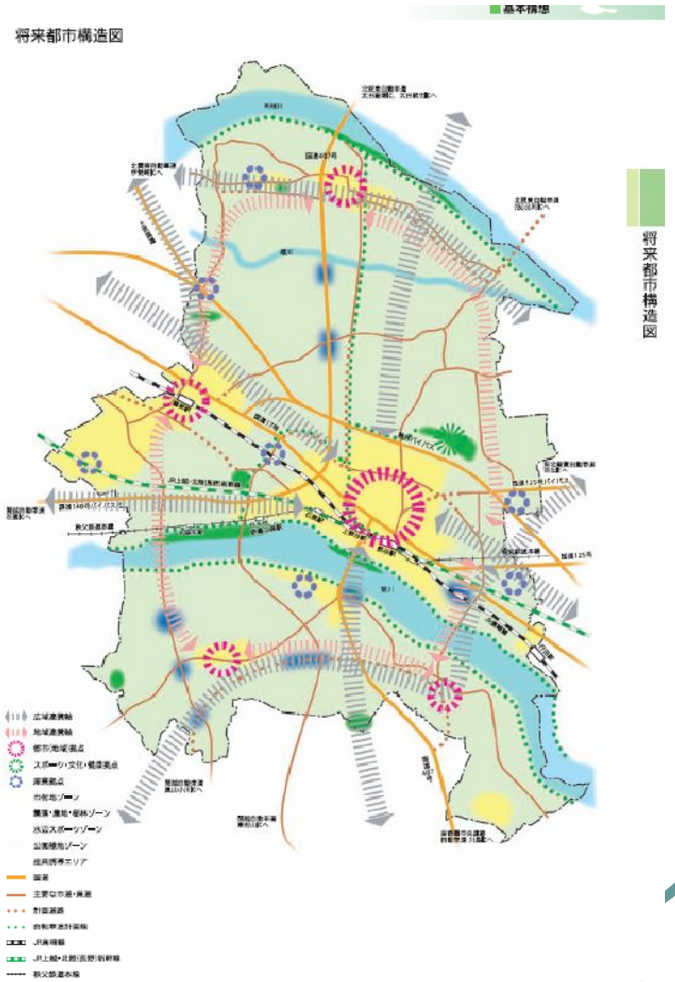
●実施内容：

整備手法	整備済み（H21.12時点）	H21年度末迄整備予定	H26年度以降整備予定
自転車道の整備			
自転車レーンの設置			
自転車歩行者道の整備			
その他			

県道大田熊谷線の自転車道整備

総合振興計画

- 熊谷UDブロックの普及
- 人にやさしいユニバーサルデザインのまちをつくる
- 地域の活性化や環境に配慮した既設道路及び計画道路等を利用した自転車道の整備
- 歴史・文化、都市としての風格を活かした景観形成
- ヒートアイランド対策など環境への配慮
- 「あついぞ！熊谷」まちづくり事業



「あつさ　はればれ　熊谷流」プロジェクト
（総合振興計画リーディング・プロジェクト）

Ⅱ　平成20年度熊谷市道路空間検討会の概要

熊谷市道路空間検討会の設立

- 国道17号においては毎年祭りが催されていることから、これらの祭事と共存した整備もあわせて図っていくほか、熊谷市に於いて策定された総合振興計画、都市計画マスタープラン、環境基本計画等を考慮しつつ、バリアフリー整備・自転車走行環境整備・景観整備の三位一体となった整備計画を検討するため、国・県警・県・市・地元が一体となって、課題の抽出及び共有化を図り、整備方針・整備計画について検討することを目的に設置するものである.

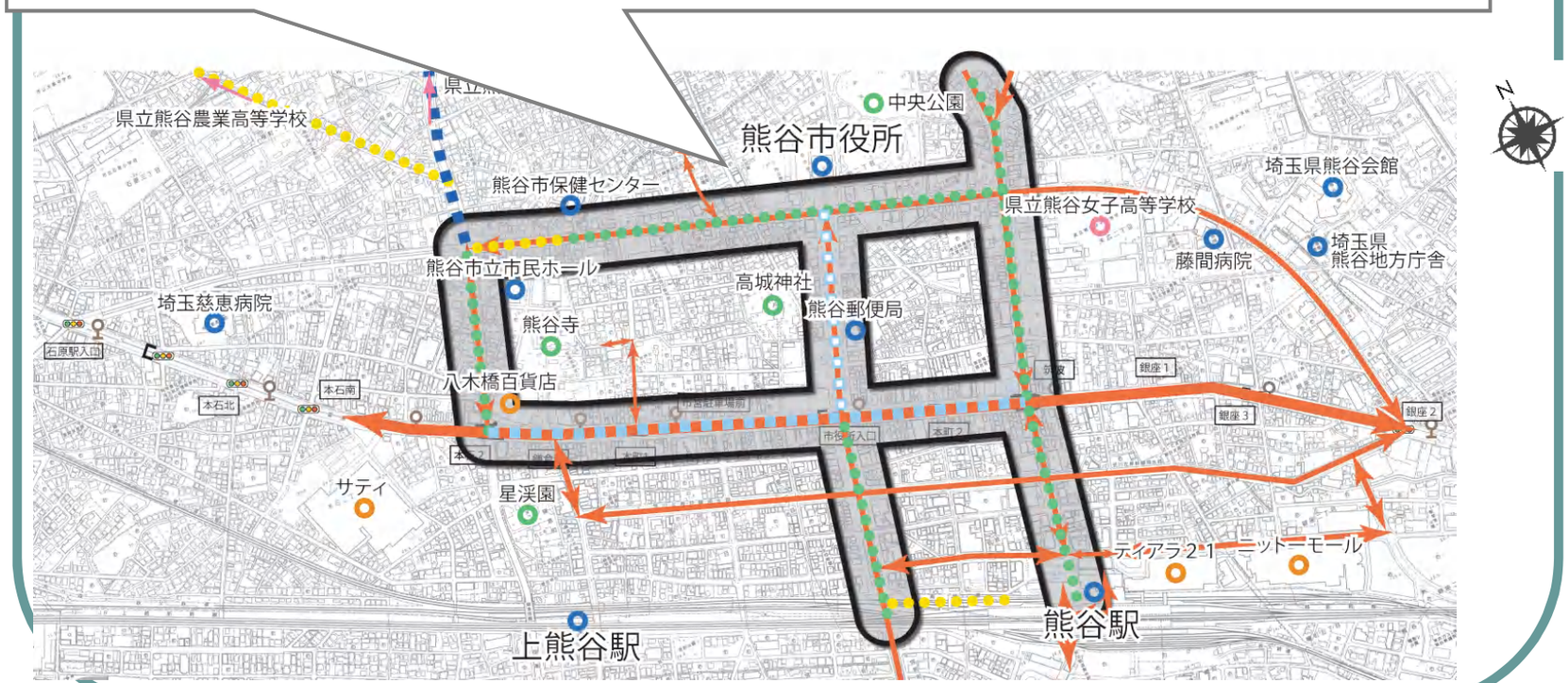
熊谷市道路空間検討会

- 委員長　埼玉大学大学院　理工学研究科環境科学・社会基盤部門　教授　久保田　尚
- 　委　員

  筑波自治会連合会　会長（熊谷市連合自治会副会長）
  熊谷市直実商店会　会長　　熊谷市交通安全母の会　会長
  熊谷市身体障害者福祉会　会長　　熊谷市ろう者協会　会長
  熊谷市視覚障害者福祉協会　会長　　うちわ祭　総代
  埼玉県警察本部交通部交通規制課　課長補佐
  埼玉県警察熊谷警察署　交通課長
  埼玉県県土整備部道路環境課　主幹
  埼玉県北部地域振興センター　担当部長
  埼玉県熊谷県土整備事務所　　道路環境部長
  熊谷市都市整備部長　　熊谷市建設部長
  大宮国道事務所　事務所長
- 事務局　大宮国道事務所　交通対策課

検討対象範囲

熊谷市交通バリアフリー基本構想で特定経路として指定された区間及び自転車通行環境整備モデル地区に指定されている区間



平成20年度の検討フロー

平成20年10月22日

第1回　熊谷市道路空間検討会

- ○検討会の設立
- ○検討の流れ
- ○現況の課題整理
- ○整備の基本的考え方

アンケート

ワークショップ

平成21年1月21日

第2回　熊谷市道路空間検討会

○調査結果等の報告
○整備の考え方及び整備イメージ（案）

平成21年3月3日

第3回　熊谷市道路空間検討会

○整備イメージ、整備方針（案）の策定

整備課題

バリアフリーと自転車利用が調和した道路空間形成

- 安全な歩行空間の確保（錯綜等の解消）
- 確実なバリアフリー化の実施
- 自転車利用の安全性向上
- 自転車利用マナーの啓発・利用者ルールの徹底

＋

- 既存施設の有効活用
- うちわ祭、えびす祭との共存
- 中山道の歴史の活用
- 景観に配慮した整備
- 夏期における暑さ対策
- 景観・環境等の維持管理

コンセプト
「ひとと環境にやさしいみちづくり」

- 歩行者と自転車の通行が区分された安全な道路空間を創出します。
- ユニバーサルデザインの理念に基づく歩行空間整備を目指します。
- 自転車利用マナーやルールの周知を図り、ハード整備と一体となった取組を進めます。
- 中山道の歴史を活かし、うちわ祭、えびす祭の祭事利用や、周辺景観に配慮した整備を進めます。
- 連続した緑陰の創出、環境配慮素材の採用等、快適な歩行環境創出を目指します。
- 地域と連携し、景観や環境の保全形成に努めます。

歩行者と自転車の通行が区分された安全な道路空間の創出

- 基本的に歩行者と自転車は構造的に分離を行います。

植樹帯による分離（新潟県新潟市）

自転車専用通行帯による分離（東京都渋谷区）

ユニバーサルデザインの理念に基づく歩行空間整備

- 国道・県道・市道が統一の理念を持って、「はじめからバリアをつくらず、だれにとっても使いやすい整備」を目指します。

進行方向にまっすぐ設置されたＵＤブロック

縁に黒の帯を入れてコントラストを高める工夫

中山道の歴史や祭事利用並びに周辺景観に配慮した整備

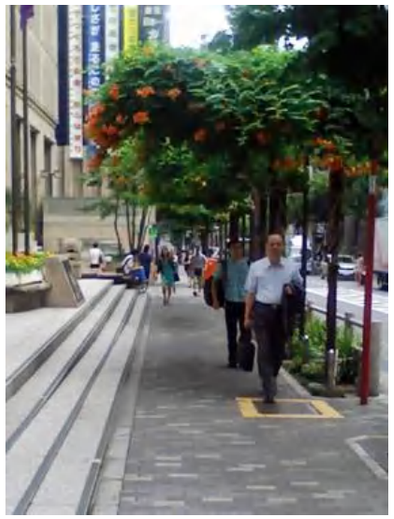
- 熊谷市の中心市街地としての景観形成に配慮し、落ち着きのある、周囲との調和が図られた道路空間を形成します。

上空の道路付属物の高さに配慮

自然なしつらえの舗装（島根県　津和野町）

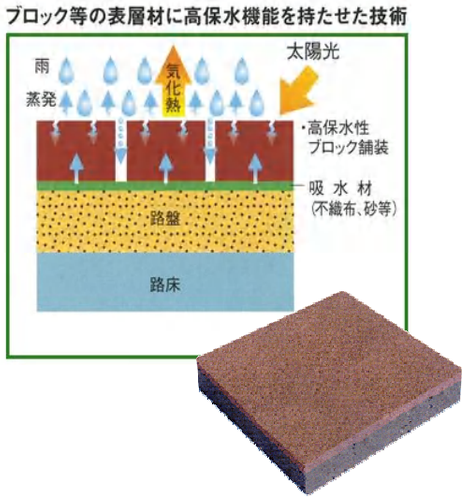
緑空間の形成及び環境への配慮

- 道路の再整備の機会を活用し、市の施策と連携して緑化等を進め、熊谷市の個性としてエコロジーを意識した空間を形成します。



歩道の日陰づくり（東京都新宿区）

壁面緑化（熊谷市内）



保水性舗装

自転車利用マナーやルールの周知

- 整備の機会に合わせ、警察や学校、地元と連携した自転車利用ルール等の周知、交通安全の啓発等を重点的・継続的に行い、地域ルールとしての定着を図ります。

学校での啓発活動（埼玉県内）

地域との連携及び景観や環境の保全・形成

- 「エコ」のまちづくりに関する市民意識の醸成を図り、打ち水や道路の維持管理をはじめ、国・県・市と市民・商店街・児童・学生等が連携した活動を展開します。

星川通りでの打ち水

花いっぱい子どもの見守り大作戦

県道太田熊谷線（整備イメージ）

- 自転車レーン

現　況

計　画

市役所通線（整備イメージ）

- 自転車道

現　況

計　画

主要地方道　熊谷停車場線
（整備イメージ）

- 自転車レーン

現　況

計　画

主要地方道　熊谷停車場線（整備イメージ）

- もしくは自転車通行帯の明示

現　況

計　画

国道17号（整備イメージ）

- 自転車道

現　況

計　画

国道17号（整備イメージ）

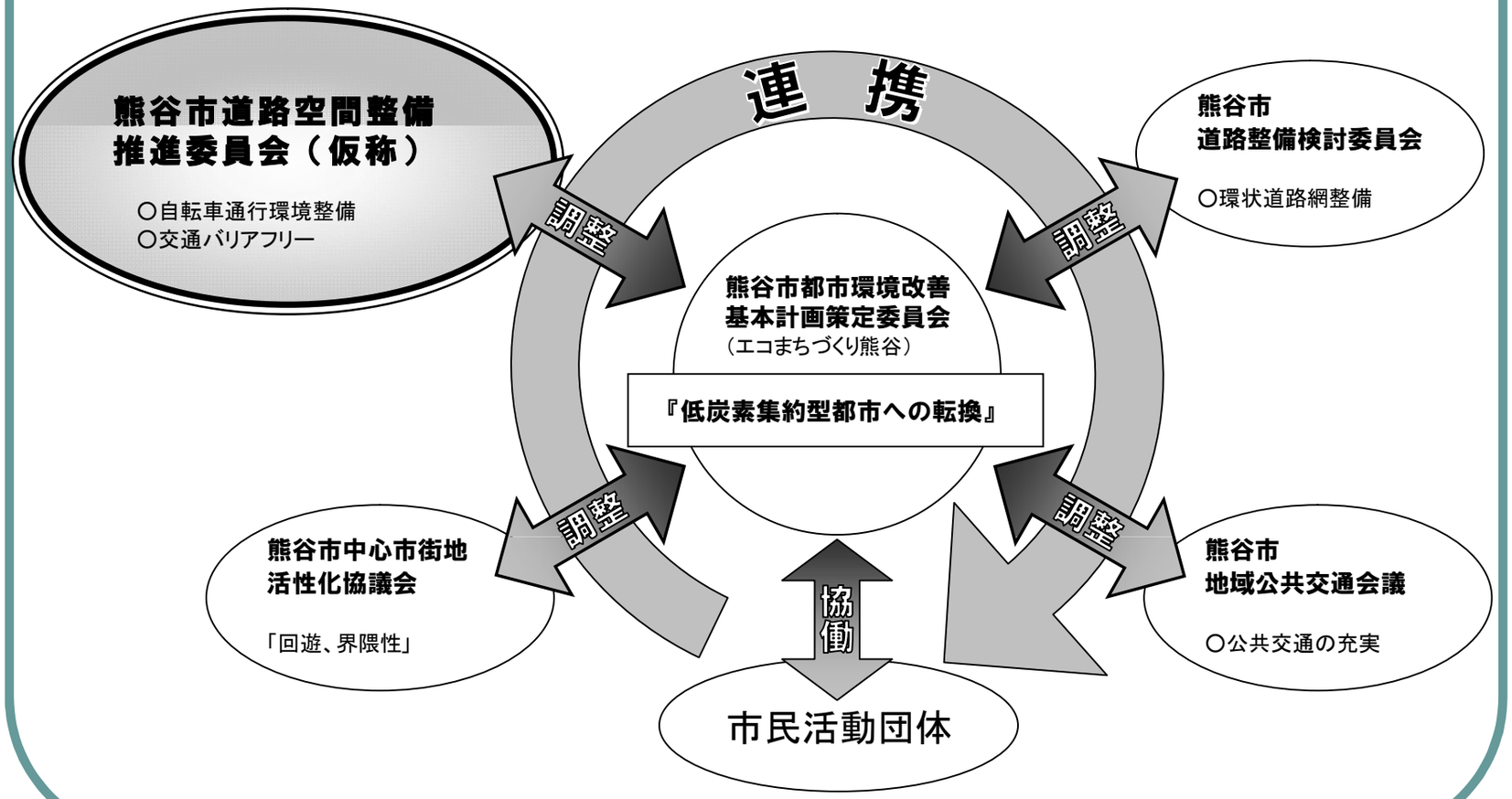
- もしくは自転車通行帯の明示（分離）

現　況

計　画

Ⅲ　２１年度の取り組み

取組体制


熊谷市道路空間整備
推進委員会（仮称）
○自転車通行環境整備
○交通バリアフリー
連　携
調整
調整
熊谷市
道路整備検討委員会
○環状道路網整備
熊谷市都市環境改善
基本計画策定委員会
（エコまちづくり熊谷）
『低炭素集約型都市への転換』
調整
調整
熊谷市中心市街地
活性化協議会
「回遊、界隈性」
熊谷市
地域公共交通会議
○公共交通の充実
協働
市民活動団体

「人と環境にやさしいみちづくり」をめざして

熊谷市道路空間整備推進委員会の設立　平成21年7月

- 平成21年度の「熊谷市道路空間検討会」の整備方針（案）に基づき、道路空間整備に係る問題点や課題の把握、周辺交通への影響の検証を行うなど、具体的な整備計画を検討する 。

２１年度の主な検討内容

- 国道17号における車線削減に向けた検討
- 交通ルールの徹底的な普及・啓発活動
- さらなるネットワークの拡大（都市レベルに拡大）
- 沿道商店との合意形成
- バリアフリー整備と自転車道等整備に関する事後評価
- 歩道橋撤去の具体的検討

Ⅳ　社会実験の実施

人と環境にやさしい道づくり
市内の国道17号を中心とした市街地の道路空間については、『人と環境にやさしい道づくり』を基本理念とし、自転車道等の整備に向けた取組みを行っています。
◆都市計画課（大里庁舎）TEL0493-39-4814
自転車道の社会実験を実施します！
10月上旬から準備工事が始まります。
17号バイパス
北大通り
市役所
市役所通り
石原駅入口
八木橋
国道17号
筑波
市役所入口
本石二丁目
星川通り
熊谷停車場線
筑波三
ティアラ21
ニットーモール
熊谷駅
凡例
自転車道の社会実験
交差点横断実験
車線減少
まちなか自転車フェスタ会場

社会実験の目的

①歩道内での自転車通行に伴う歩行者の安全性の検証

②車道の2車線化の検証

③歩道橋設置交差点における平面横断化の検証

実施時期・実験区間

- 10月28日（水）～11月20日（金）の24日間
- 国道17号
  :筑波交差点～本石2交差点
- （主）熊谷停車場線
  :弁天町通り～筑波交差点
- 市役所通線
  :北大通り～市役所入口交差点

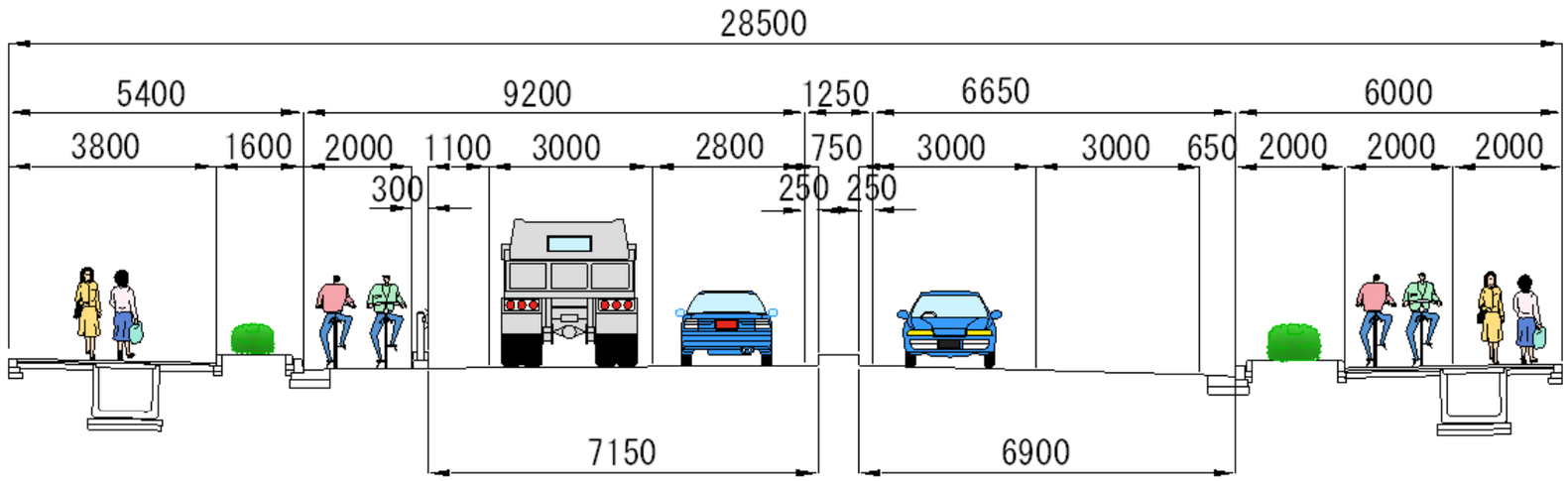
実施した調査

１ 歩行者・自転車利用実態調査	通行量変化及び指定通行位置の遵守状況の確認のため、主に国道17号を対象に歩行者・自転車の通行量調査を行う。
２ ビデオ調査	自転車の走行速度変化及び歩行者・自転車の錯綜状況の確認のため、主に国道17号を対象にビデオ調査を行う。
３ アンケート調査	実験区間の道路利用者や沿道商店等の意向を把握するため、直接配布、団体配布、インターネット等によりアンケート調査を実施する。
４ 交差点交通量調査他	二車線化による自動車交通量及び渋滞長、旅行時間の変化の確認のため、主に国道17号を対象に自動車交通量調査等を行う。

主な実験内容

①歩道上に自転車道を設置する
②車道上に自転車道を設置する
（車道の2車線化）
③交差点部の平面横断化
筑波交差点
：歩行者の平面横断化実験（２日間）
本石二交差点
：自転車の平面横断化実験（１日間）

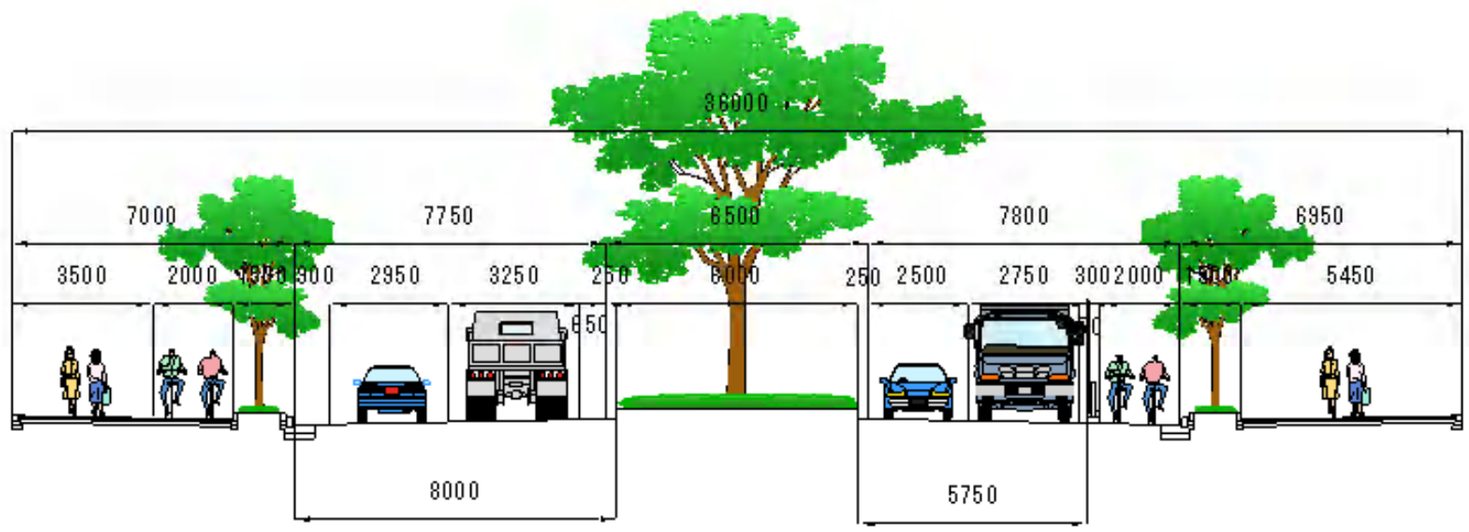
国道17号



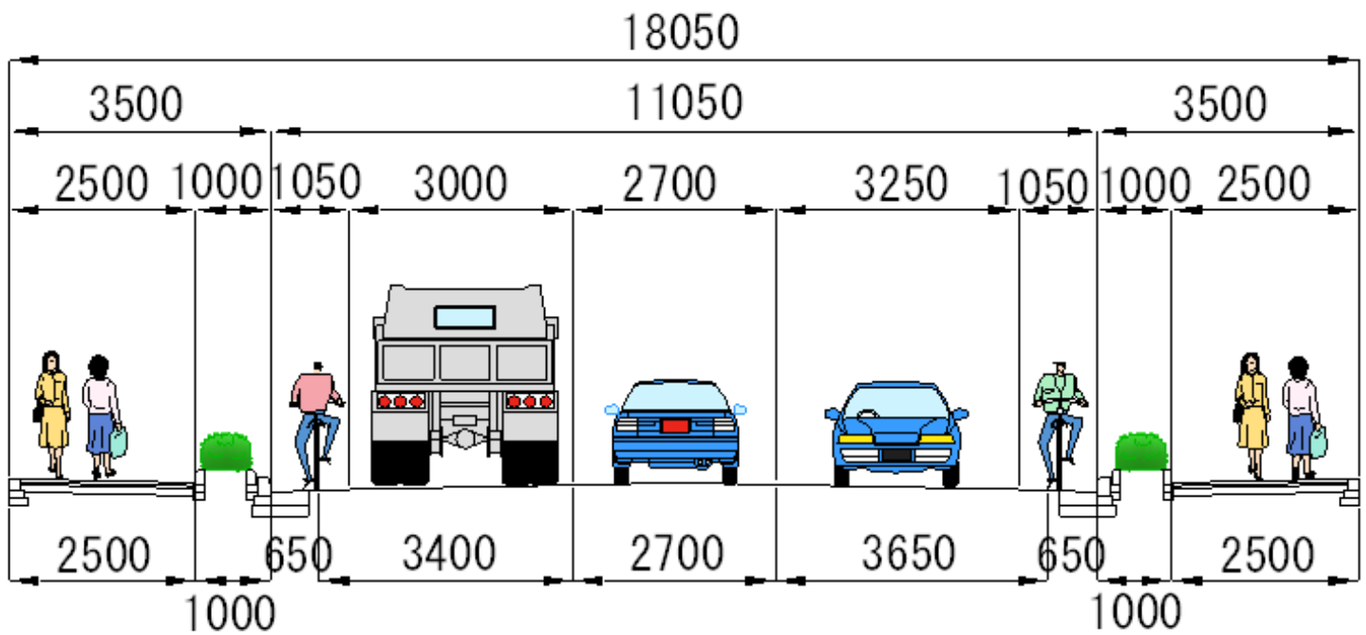
下り線（南側）
車道上自転車道

上り線（北側）
歩道上自転車道

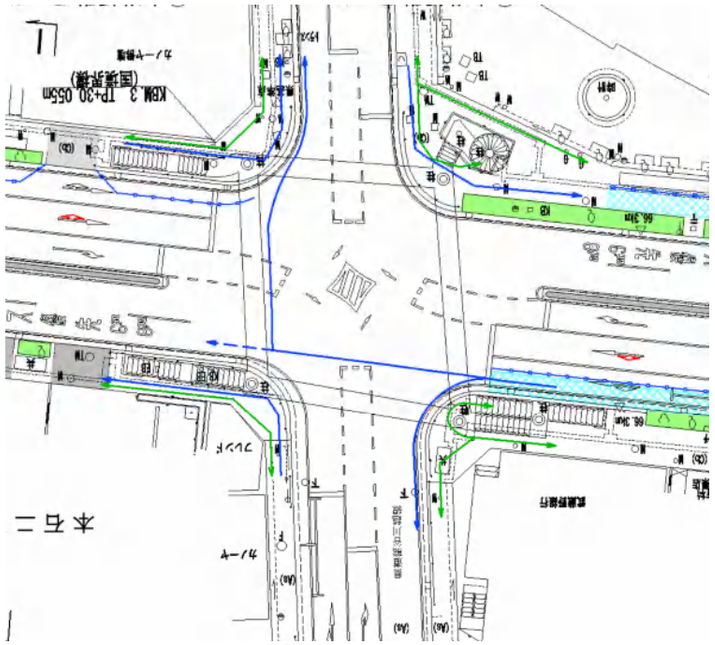
市役所通線


36000
7000
7750
6500
7800
6950
3500
2000
300
2950
3250
250
250
2500
2750
3002000
5450
650
8000
5750

主要地方道熊谷停車場線

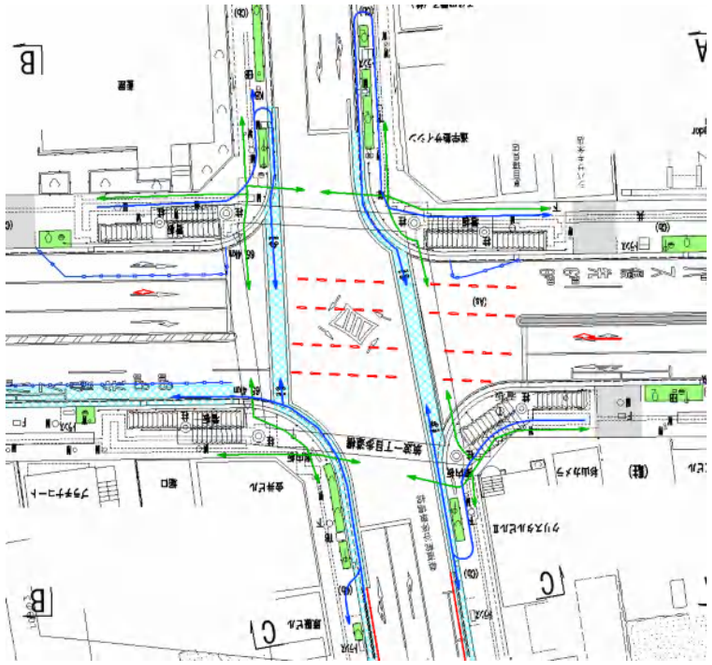


平面横断化　本石交差点



通学時の状況

平面横断化　筑波交差点



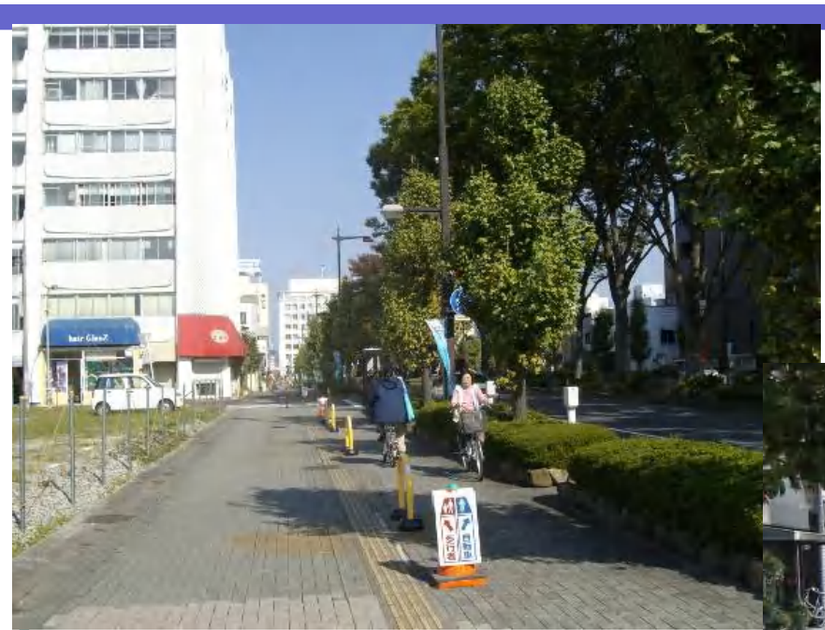
通学時の状況

広報・PR等

- 住民の方や沿道商店の方を対象とした説明会の実施
- 説明会：9月14日（月）（主に商業者） 9月18日（金）（主に居住者）
- 学校関係者へは個別に説明
- 社会実験に係る準備工事（9月下旬～10月下旬）
- 銀座1丁目交差点～本石南交差点間を予定
- 社会実験に係る周知（10月上旬～）
- 新聞広告、ラジオ提供、テレビCM、チラシ（折り込み広告用）ホームページ、看板等

社会実験中の状況

市役所通線



国道17号

下り方面

上り方面

国道17号

主要地方道熊谷停車場線

平面横断化の実験

平面横断化の実験

高校生による啓発活動

関連イベント

まちなか自転車フェスタ
まちなかのCO2を減らすひとつの試みとして、実行委員会では自転車でのエコライフを提案します。様々な自転車の試乗や、エコライフ体験など、楽しいイベントをまちなかで開催します。ぜひぜひ、お越しください。
10/31土 10:00～16:00
コミュニティひろば
※強い雨の場合は中止予定
まち乗り自転車試乗会
最近話題の電動アシスト付自転車や安全基準を満たした新規格の２・３人乗り自転車（幼児二人同乗可）などを試乗してみましょう。
【参加企業・団体】
パナソニックサイクルテック株式会社
ヤマハ発動機株式会社
株式会社カワムラサイクル
株式会社丸石サイクル
コミュニティひろば
熊谷駅
お車でお越しの際は市営本町駐車場（有料）をご利用ください。
自転車無料点検
自転車の無料点検を行います。普段お使いの自転車のリフレッシュをしてみませんか。
【参加企業・団体】
埼玉県自転車・軽自動車商協同組合　熊谷支部
電気・ガスのエコライフ展示
暮らしに欠かせない電気・ガス。エコライフへの様々な取り組みをご紹介します。
・電気自動車の展示・解説
・体験車を使ったオール電化体験
・ガスを使ったエコライフの展示
＊当日は、当会場と東京ガス熊谷支社「ガス展」会場を人力車が往復します。ひと味違った熊谷の景色をお楽しみください。
【参加企業・団体】
東京電力株式会社熊谷支社
東京ガス株式会社熊谷支社
Switch!
地粉100%！熊谷うどん
日本有数の小麦の産地熊谷の名物「熊谷うどん」を出店します。自転車に乗っておなかがすいたら秋空の下でうどんをどうぞ。
【参加企業・団体】
小麦産業クラスター研究会（熊たまや）
当日はニャオざねもくるよ！
社会実験PRブース
実施中の自転車道等社会実験に関してご紹介します。
【参加企業・団体】
熊谷市道路空間整備推進委員会
WELCOME

自転車フェスタ

広場内が自転車の試乗場所となりました

電動アシスト自転車や
安全基準を満たした幼児二人乗せ自転車の試乗

自転車フェスタ

自転車無料点検

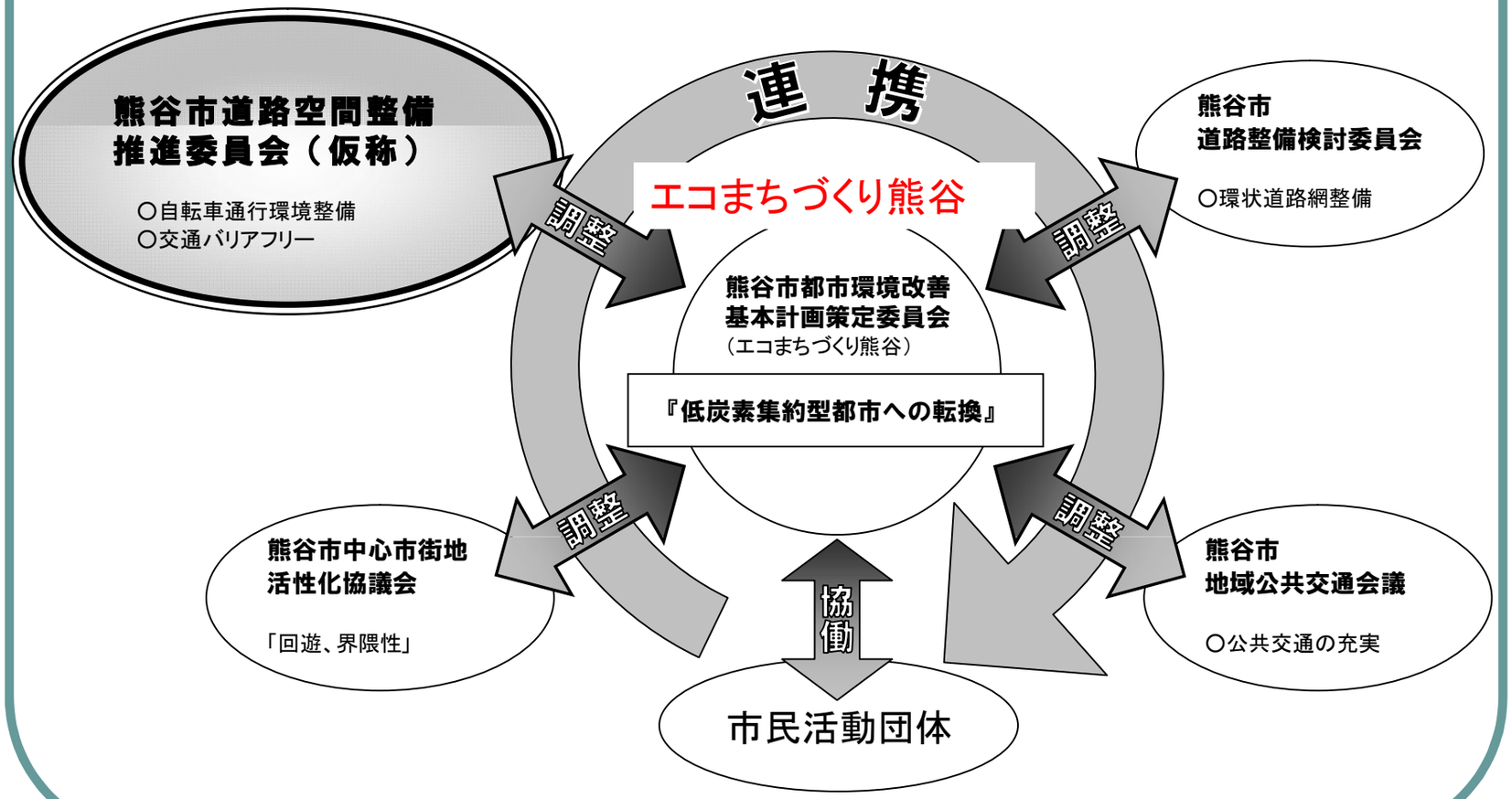
オール電化や電気自動車の展示
（東京電力）

自転車フェスタ

試乗体験の様子

「ニャオざね」もかけつけました

Ⅴ　エコまちづくり熊谷


熊谷市道路空間整備
推進委員会（仮称）
○自転車通行環境整備
○交通バリアフリー
連　携
エコまちづくり熊谷
熊谷市都市環境改善
基本計画策定委員会
（エコまちづくり熊谷）
『低炭素集約型都市への転換』
調整
調整
調整
調整
熊谷市
道路整備検討委員会
○環状道路網整備
熊谷市中心市街地
活性化協議会
「回遊、界隈性」
熊谷市
地域公共交通会議
○公共交通の充実
協働
市民活動団体

エコまちづくりの課題

歩行者・自転車等の利便性・快適性・安全性の向上
…中心市街地の回遊性を高めることが必要
…特に、自転車のための環境を整えることが必要

公共交通の充実
…エコ通勤の推進につながる施策が必要
…中心市街地の回遊に寄与する交通の充実が必要

自動車の適正利用
…中心市街地の通過交通抑制や渋滞緩和策が必要

暑さ対策・緑化・市民意識の啓発
…中心市街地の過ごしやすい環境づくりが必要
…エコまちづくりへの理解と参加を促す施策が必要

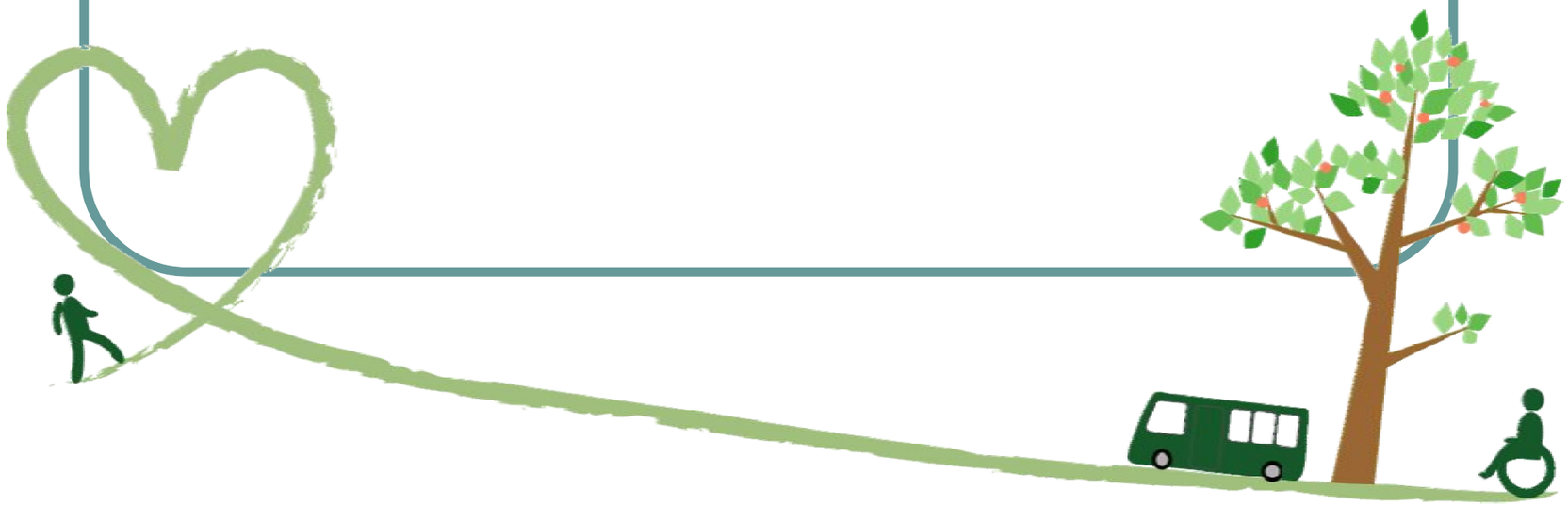
エコまちづくりの目標

計画の目標：「エコまちづくりで熊谷を元気に！」

⇒交通まちづくりを中心に、低炭素集約型都市への転換と
中心市街地の活性化を図り、「ひと」が中心のまちを実現する

◆目標値の設定項目（案）

ＣＯ２排出量の削減

- 歩行者・自転車交通量の増加
- 自動車交通量の減少
- （公共交通分担率の向上）
- （旅行速度改善）
- 市民意識の変化（環境への意識・まちの快適さ向上）
- その他（緑被率の向上・都市内人口の増加　など）

熊谷市の「市街地における自転車走行環境整備の取り組みについて」